

公明新聞記事 平成16年5月22日(土)

狭く危険な幹 線道路を拡幅

福岡県前原市

前原市中央1丁目の県道・雷山前原線が、このほど拡幅された。拡幅された区間は延長約48㍍。従来の道幅5・8㍍が9㍍に広げられ、車道(6・5㍍)と歩道(2・5㍍)が設置された。

同県道は途中から、前原市と福岡市を結ぶ幹線道路にもつながっており、交通量の多い路線。とくに中央1丁目付近は、福岡市中心部とを結ぶ大型路線バスが1日42

往復もしている。ところが、これまで同地の道幅だけが大型車両が1台しか通れないほど狭く、歩道もないことから住民は不便をかこっていた。

このため、地域住民から歩道設置の要望を受け



た同市議会公明党の笹栗純夫議員が昨年7月、市建設課に「県と道路拡幅で交渉を」と強く要請。今回、県が用地を買収して電柱を移設、道路を拡幅した。